

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。



本市の景観を重視した公園管理について

創政クラブ 矢部 伸幸

議員 現在の公園の管理体制について伺います。

行政事業部長 各地区の公園管理団体を基本としながら、樹木剪定については、造園業者への業務委託と直営で対応しています。

議員 樹木剪定の業務委託について、複数年契約とすることで、景観の向上や効率的な管理が可能になると考えますが、所見を伺います。

行政事業部長 現状の単年契約の方が、1年ごとの公園の変化を考慮して発注することができるため、より効率的であると考えます。



議員 景観を重視した公園管理を行うために、指定管理者制度を導入し、複数年契約とすることで、長期的な視点で公園の管理を行うことができ、職員の負担軽減などさまざまなメリットがあると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 以前から要望があり、その度に検討していますが難しい状況です。有料の公園などは、良い景観を保つ必要があり、指定管理や複数年契約が非常に有効であると思いますので、今後の契約の在り方について、再度検討していきたいと思います。

議員 市内の公園について、造園業者に任せる公園や、地域で管理する公園など、管理体制を再検討すべきと考えますが、所見を伺います。

市長 お客さまが来て、何かを感じてもらう公園については、指定管理や複数年契約も可能と考えますので、今後担当部局と検討を進めていきたいと考えます。



公共工事や委託など公契約制度の充実について

日本共産党 水野 正己

議員 末端の下請労働者まで労務単価を保障するため、市独自の最低賃金を設定し、総合評価落札での入札を増やすことが必要ですが、所見を伺います。

総務部長 最低賃金は、企業の自由な経済活動の結果であり、市独自の最低賃金の設定は考えていません。

議員 市の公共工事で下請代金未払いが実際に起こっており、下請代金の不当な値引きを事実上強要されたという情報も寄せられています。こうした問題を防ぐため、元請業者に対し、末端まで下請代金が適正に払われているか、確認の義務付けが必要であり、元請業者の負担軽減のため、確認に必要な費用を予定価格に反映させるべきですが、所見を伺います。

総務部長 下請代金の支払い確認の義務付けや、確認費用の予定価格への上乘せは考えていません。

議員 信頼できる下請業者の確

保、工事品質確保には、物価高に見合う予定価格とし、総合評価落札での入札を増やすべきですが、所見を伺います。

総務部長 予定価格は最新の労務単価および資材単価を使用して積算しており、賃金や物価水準の急な変動には、工事約款のスライド条項で対応しているため、物価高を反映させた適正なものと考えます。総合評価落札方式については、引き続き技術力を重視する工事案件に採用するなど、現行制度を維持し、工事品質の確保に努めていきたいと思っています。



本市の持続可能なまちづくりと定住化に向けた取り組みについて

市民の会 尾内 謙一

議員 持続可能なまちづくりにおいて最も重要な要件は、いかに定住人口を増加させるかだと考えますが、本市の定住化に向けた施策の推進について、所見を伺います。

企画部長 現在実施している移住支援金のほか、10月からは地方就職支援金事業の実施を予定しています。働く場所の確保や就業支援に引き続き取り組み、積極的にPRしていきたいと考えています。



議員 東京一極集中のなか、本市は地方都市として厳しい状況にあります。子どもたちには学校で本市のおか

れた状況をよく学び、自らの判断で進路を切り開くようなカリキュラムに取り組んでほしいと考えますが、所見を伺います。

教育長 さまざまな人との関わりや地域の魅力や課題の学習、体験がいずれ自分の人格形成につながり、太田市への愛着や地元で頑張りたいという意欲につながると考えていますので、地域の資源や特色を活かした学校づくりを進めていきたいと思っています。

議員 本市から首都圏への電車通勤・通学の補助について、本市の魅力につながる政策として取り組む好機だと考えますが、所見を伺います。

市長 本市では企業や教育機関、スポーツを通じて関係人口が増加しています。電車での通勤補助については、さらなる定住化の推進に向けて検討していきたいと考えています。

■その他の質問

・八王子山公園(北部運動公園)の今後の整備計画と利活用について



本市の不登校児童生徒の現状と課題について

創政クラブ 大川 陽一

議員 不登校児童生徒が過去最多となり、文部科学省は居場所づくりや進学支援などを各教育委員会に求めています。不登校対策のCOCOLOプランの概要について伺います。

教育部長 COCOLOプランでは、全ての不登校児童生徒の学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えることを示しており、校内のサポートルームやふれあい教室の開設など、通いやすい環境づくりに努めています。

議員 不登校児童生徒を対象としたオンライン授業について伺います。

教育部長 希望によりタブレットを活用して授業を配信しています。



議員 不登校児童生徒への対策の成果について伺います。

教育長 校長がリーダーシップをとり、教職員が一丸となって、子どもや家庭への働きかけや関わりを大切にした結果、昨年度は不登校児童生徒数がわずかに減少しました。今後も未然防止のため、教師の予兆把握体制を重視し、共生の学校づくりを目指していきたいと考えています。

議員 不登校児童生徒やいじめ問題については深刻であり、早期に認知し、対策するためにも、知事と協議し、県で実態調査をしてもらいたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 県に対し、条例を制定し、調査するよう投げかけをしたいと考えています。本市と教育委員会が連携して、可能な限り不登校児童生徒の減少に努めたいと思います。

■その他の質問

・フリースクールの概要と現状について